

奈良発 キラリと光るものづくり企業セレクション

Toward

# The Global Niche Top

企業ガイドブック 2016



# 三晃精機株式会社



【事業概要】建設機械関連商品の製造、販売および輸出、農業機械関連商品の製造、販売および輸出等

【所在地】大和高田市東三倉堂町 7-13

【電話番号】0745-52-0025

【URL】<http://www.sanko-seiki.co.jp/>

【代表者名】代表取締役社長 笹岡 元信

【設立】1969年

【資本金】40百万円

【従業員数】10人（内正社員8人、パート・臨時2人）

【売上高】158百万円（平成27年4月期）

## 経営理念 or 代表者メッセージ

### 研究開発型技術屋集団

<経営理念>

知見を高め、新製品の開発・販売を通じて社会に貢献する

<事業方針>

自社技術である、不正燃料の判別装置の製造・販売を通じて環境保全に貢献する

当社は絶えず産研学\*を中心とした研究開発を行い、時代の流れを読んだ上での新しいニーズの発掘に全力を傾注してきました。ニーズは無限にあります。それを発掘し“商品”という形に代え、社会の要望に応えるのが当社の使命だと考えています。

従業員はすべて研究者として扱い、各大学や公設研究機関の先生と対等に研究や開発を続けます。\*「産」は企業、「研」は公設研究機関、「学」は高等専門学校や大学



笹岡 元信

## 技術・製品の特長

軽油・灯油・A重油およびそれらの混合物を色相値並びに吸光強度特性により判別する技術

### ◆ 技術内容

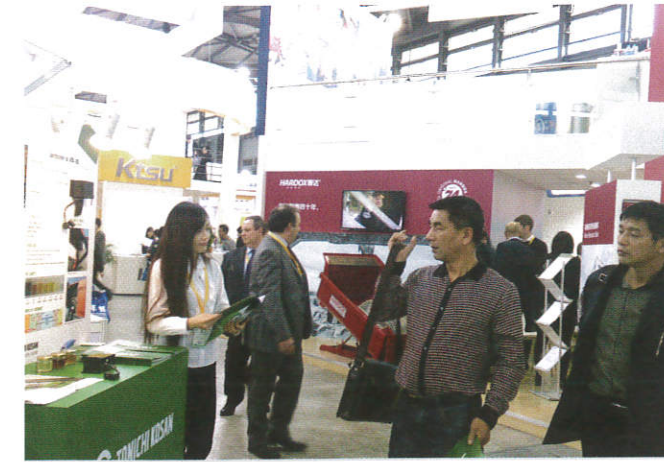
- 軽油・灯油・A重油もしくはこれらの混合油の種別を色相値によって判別する技術
- 特定波長域の吸光強度が油種によって違うことを発見し、判別性能が向上
- 不純物（ピッチ、コンタミネントなど）の含有量は色の濃さに比例
- 比重・屈折率・粘度に比べて判定結果が温度に影響されない
- 当技術を応用した「機械搭載型不正燃料判別装置（商品名：チェッカマン・エース）」を開発

### ◆ 技術の用途と機能

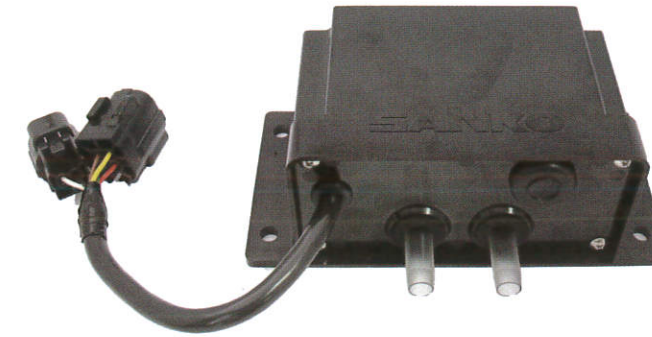
建設機械の多くはレンタルで使用され、不正軽油を使用されるケースが後を絶たない。不正軽油の使用は脱税、大気汚染、機械寿命の短縮につながっている。環境省は「特定特殊自動車排ガス規制法」を定め建設機械も排ガス規制の対象にしている。

これまでのポータブル検査機では難しかった

判定を克服した「チェッカマン・エース」は、自動で燃料を測定・記録し、不正軽油を使用した場合はエンジン停止をさせることもできる。装置の構造はシンプルで機械搭載も容易で「簡単に、誰でも、低コストで測定」を可能にした。当商品は、国土交通省「NETIS」に登録された商品です。さらに判別能力の向上を図り、海外展開も注力を行う。



「bauma china（パウマ チャイナ）2014 出展の様子



「チェッカマン・エース」



使用例

## ◆ 特徴・強み

- 現場のニーズを大切に
- 産研学による課題解決
- ユーザーに貢献する

30年余りに開発し、現在も主力商品であるポータブルエンジンスターター「バッテリーカ」は広大な農地でバッテリーあがりのニーズに対応した予備バッテリーとして開発された。現在は通常バッテリーの1/5にコンパクト化し、瞬間的に約1000アンペアのクランピング電流を発生させる特殊電池を内蔵し、建設機械の油圧ショベルやトラック等の大型車両に対応する。

奈良女子大学、奈良高等専門学校と共同開発をした、高齢者や女性でも使いやすい農作業用の電動運搬車は、2013年度の「科学技術白書」に掲載された。

全従業員が研究者となり現場のニーズを掘り起こし、社会に貢献できる商品開発を行う。

